

2022年度 原料規格三者委員会 議事録

1. 日 時 : 2023年2月22日(水) 16:00~17:20

2. 場 所 : ハイブリッド会議 (対面 : 鉄連第2会議室/Web : Teams)

3. 出席者 : (敬称略)

委員長 尾島 (東京理科大学)

副委員長 田中 (東京理科大学)

委員 木原 (伊藤忠)、伊藤 (英) (海外貨物検査)、錦織 (神戸製鋼)、厚東、
森川 (JFE スチール)、堤 (謙) (住友商事)、矢野 (双日)、稲角 (東京大
学)、山田 (日本製鉄)、堤 (紳) (日本規格協会)、木幡 (丸紅)

欠 席 八田 (三菱商事 RIM ジャパン)、日下 (三井物産)

(委員長・副委員長・委員計 13名)

関係者 富永、伊藤 (実) (経済産業省)

(関係者計 2名)

幹 事 坂橋 (鉄鋼連盟)

事務局 寺澤、井田、楠野 (鉄鋼連盟)

(事務局計 4名)

4. 議題と配布資料

4.1 審議事項

1) 前回議事録案の確認

資料 1-2 2021年度 原料規格三者委員会議事録 (案)

2) 制定審議

資料 2 JIS M 8210-1 鉄鉱石-コバルト定量方法-

第1部 : 2-ニトロソ-1-ナフトール抽出分離吸光光度法

資料 3 JIS M 8210-2 鉄鉱石-コバルト定量方法-第2部 : 原子吸光分析法

資料 4 JIS M 8230-1 鉄鉱石-ビスマス定量方法-

第1部 : 鉄抽出抽出分離よう化物吸光光度法 (修正)

資料 5 JIS M 8230-2 鉄鉱石-ビスマス定量方法-第2部 : 鉄抽出分離原子吸光
分析法

3) 改正審議

資料 6 JIS M 8211 鉄鉱石-化合物方法-カールフィッシャー滴定法

資料 7 JIS M 8709 鉄鉱石－サンプリングの偏りを調査する実験方法

資料 8 JIS M 8711 鉄鉱石焼結鉱－落下強度試験方法

資料 9 JIS M 8720 鉄鉱石－低温還元粉化試験方法

3) 廃止審議

資料 10 JIS M 8210 鉄鉱石－コバルト定量方法

資料 11 JIS M 8230 鉄鉱石－ビスマス定量方法

4.2 報告事項

1) 資料 1-1 2022 年度 第 1 回原料規格三者委員会名簿（報告）

2) 資料 1-3 原料 JIS 制改正中長期計画（報告）

5. 議事内容及び結果

委員会成立の確認：委員数 15 名に対し出席委員数 13 名で過半数を満たしており、委員会が成立。

会議に先立ち、会議資料の確認及び前回会議以降の委員変更の紹介があった。

新委員： 森川委員（JFE スチール、丸岡委員から交代）

尾島委員長の Teams のアクセスに不具合があり、開始当初に田中副委員長が代行され、以下の議事が進められた。JIS M 8230-2 の審議まで、田中副委員長が議事を進行され、JIS M 8211 以降の審議から尾島委員長となった。

5.1 幹事から前回議事録の報告がなされた。

前回議事録は、会議後に既に回付されており、特に異議がなく承認された。

5.2 幹事から、原料関連 JIS 制改正中長期計画について報告された。

5.3 制定 4 件、改正 4 件及び廃止 2 件について、鉄鋼連盟の事務局より制改正/廃止内容の説明がなされ、質疑応答がなされた。審議内容及び原案修正点は、規格ごとのコメントテンプレートに記載された。

いずれも審議結果を原案に反映することとして承認された。

改正規格 4 件の資料 6-9 の各 1 頁目（申出時の経過報告書と同一内容）の記載（1. 制定/改正の別）に誤りがあり、席上で、制定→改正、と修正された。

5.4 その他

幹事から、2023 年度の原料規格三者委員会として年 1 回開催する予定であることが説明され、暫定の候補日 2 月 22 日（木）が挙げられた。

正式日程は、委員長と相談の上、別途連絡することになった。

以上